



## “Program Update”



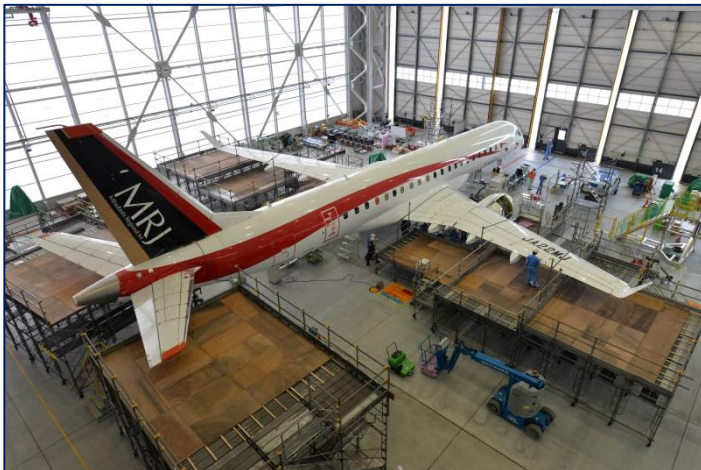
### 走行試験を開始しました (飛行試験機初号機)

6月8日、飛行試験機初号機による走行試験を、愛知県営名古屋空港(愛知県豊山町)で開始しました。

今回の走行試験では最高 10 ノット(18 キロ)の低速状態においてブレーキの確認、ステアリングによる方向制御の確認を行い、成功裏に完了しました。

走行試験を担当したパイロットに操縦後の感想を聞いたところ「とても素直でキチッとしている。非常に乗り心地の良い機体。」とのことでした。

今後、今年9月～10月に予定している初飛行前には離陸時と同じ時速 200 キロ程度での高速滑走試験を行います。



### 全機振動試験を実施 (飛行試験機2号機)

今月、飛行試験機2号機による全機振動試験(Ground Vibration Test :GVT)を実施しました。

GVT は近年の高度にコンピューター化された操縦装置を持つ航空機の開発では大変重要な役割を持ちます。試験によって航空機の構造、とりわけ振動特性が計画通りになっているかを検証します。

実際の飛行において、機体の構造(ハード)と電子制御による操縦系統(ソフト)が調和の取れた機能を発揮することを地上で確認し、飛行の安全を保証して行きます。



## “Hot Topic”

### 第51回パリエアショーに出展

6月15日～21日にパリ郊外ル・ブルジェ空港で開催されたパリエアショーに出展しました。パリエアショーはイギリスファンボローエアショーと隔年開催される世界最大級のエアショーで今回が51回目。MRJはプログラムローンチ前の2007年より出展しており、今回が5回目の参加となります。

MRJはシャレーと呼ばれるお客様との商談等を行うメインの建物を構えるとともに隣接地にパビリオンを構えました。

パビリオンでは内装カラーリングを一新した実物大のキャビンモックアップにより客室快適性をアピールするとともに、操縦用電子機器等のパートナーであるロックウェルコリンズ社と共同制作したフライトデッキのビデオデモストレーターを出展。ロックウェルコリンズ社と共同PRイベントもを行い、MRJの先進性、安全性をアピールしました。

